

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	15	課題区分	C	令和4年(2022年)3月30日	
横断的な課題	2交流と地消地産や産業振興による地域の活性化						
地域重点政策	2産学官金連携、広域連携による基幹産業の振興					上田地域振興局	
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	林務課(普及林産係)	
事業名	にぎやかな森プロジェクト				電話	内線 8-234-2404	
				E-mail	uedachi-rimmu@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	持続的な森林経営に向けて上田地域の森林の付加価値を高めるため、下記項目の調査研究・評価によりデータの見える化を図るとともに、地域林業経営者等へ成果を普及啓発する。					
	現状と課題	東信カラマツの需要が高まる中、主伐・再造林など持続的な森林経営にどう繋ぐかが課題。このような状況を踏まえると、地域林業の長期的課題に改めて向き合い、地域で連携して課題解決に向けてひとつひとつ実践し、成果に関する社会的な認知を高めることが必要。折しも、脱炭素や気候変動への対応など、森林に対する社会的ニーズや機運が高まっている状況から、森林の新たな付加価値の創出も含め、幅広く調査研究に取り組むことが必要。					
内容 (変更後の内容)	下記内容に関する調査研究活動を実施し、単年度の成果を取りまとめる。						
	① 森林のCO2吸収量ポテンシャル評価 ・実施内容… 管内認証森林 9,500haのCO2吸収ポテンシャル、過去5年間の吸収量算定 ・現状と課題… 森林の新たな付加価値の創出 ・成果の活用… 森林管理によるCO2吸収量の見える化 CO2吸収量の見える化の取組をPR、企業のCSR・CSV投資を呼び込み ② カラマツ天然更新可能性調査 ・実施内容… 伐採跡地における実生による天然更新や成林に関する調査 ・現状と課題… 長期的課題への対応 ・成果の活用… 天然更新による再造林コストや労働力低減 持続的な森林経営手法の模索 ③ 調査研究活動の事例調査、報告会開催、報告書作成 ・実施内容… 他地域における事例等調査及び調査研究成果を地域林業経営者や社会 貢献に興味のある企業等へ普及啓発を行う報告会の開催等 ・現状と課題… 長期的課題への対応 ・成果の活用… 調査研究成果に関する社会的認知の向上						
事業期間	R3年(2021年) 8月		～	R4年(2022年) 3月			
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	① CO2吸収量評価	CO2吸収量の見える化	269,000				
	② 天然更新可能性調査	労働力低減等の検討	62,000				
③ 事例調査・報告会	関係者への普及啓発活動	201,024					
	合計		532,024				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	成果の普及啓発先 (研究会等への参加、連携先の団体・企業数 R2…12者)		37者	45者	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成		
事業実績・成果	①調査研究活動の成果に関する勉強会、報告会を開催し、地域の企業や関係団体に普及啓発できた。 ・生物多様性勉強会 (R3.12.20開催) 13者 (33名) ・CO2吸収評価勉強会 (R4.1.27開催) 4者 (12名) ・調査研究報告会 (R4.3.15 WEB開催) 28者 (71名) ②啓発・PR活動を通じ、趣旨に賛同する企業2社と森林の里親協定を締結した。(R4.1.26開催)						
今後の方向性	企業・団体などの普及啓発先は目標値を上回ったものの、森林に対する投資を更に呼び込むことが必要であるため、参加企業数を増やすための営業活動を更に積極的に進める。						